

ユニクリコミレスで 無縁社会をなくしたい

ユニバーサルクリエートの結成

我々NPO法人ユニバーサルクリエートは、結成して4年が経ちました。

設立のきっかけは、今から8年前になります。2002年から松山青年会議所で活動していた福祉委員会のメンバーたちは、障がい者たちの社会参加を応援する活動を続けていく中で、自分達の中で何かが変わっていくのがわかりました。

こども達のキャンプで、こども達が障がいのあるなしに関係なくお互いに支えながら活動している姿を見て、障がい者雇用の経営者との勉強会では、自らが障がいを持つ経営者が自分の持つ力を見出し、春祭りの大名武者行列では本当に明るく、元気にはしゃぐ仮装した障がい者の姿を見て。

それは、社会で「あたりまえ」に暮らす姿でした。その人たちの姿に、支援したはずの我々の心に、元氣と勇氣と温かい氣持がいつも湧いてくるのです。それに対して、我々が「あたりまえ」に暮らす社会はどうでしょう。さまざまな問題を抱えなが

ら不安な思いで暮らしている人たちのなんと多いことか・・・。「本当に豊かな社会」についてメンバーが話し合う機会が増えていきました。その中で我々が出した答えが「ユニバーサル社会を創造しよう」と・・・。

「ユニバーサル社会」、年齢・国籍・性別・障がいの有無などにかかわらず、誰もが暮らしやすい社会。一人ひとりが持つ力を発揮し、誇りを持って生きられる社会。その「ユニバーサル社会」を創造していこうと2006年2月NPO法人ユニバーサルクリエートが設立されました。



えんむすびプロジェクト

我々がまず最初に始めたプロジェクトが「えんむすびプロジェクト」。ひと月の給料が未だ1万円に満たないチャレンジド（働く障がい者）の働き方を地域全体で応援していこうというプロジェクト。

（縁）企業やアーティスト達が協力し新商品を開発し、（援）福祉施設や福祉作業所たちがお互いの壁を越え応援しあい、（円）



NPO 法人
ユニバーサル
クリエート代表

佐伯 康人



障がい者一人ひとりの持っている力を発揮し、現在の給料を5倍、10倍にしたいというプロジェクト。

たぐさんの企業や施設が参画し、力を合わせ、彼らが活躍する舞台を施設から地域に変えていったことで少しずつですが、チャレンジドたちの働き方が変わってきました。なによりもこの活動が続ける中で、地域の人たちが本当に温かく彼らを応援してくれます。心豊かな地域のコミュニティがひとつふたつ「あたりまえ」にあることが本当にうれしい。胸にジーンときます。

「コミレス」開店へ

今年は、さらに「就農」をテーマにプロジェクトを進めています。

チャレンジドたちの就農を通して、地域の高齢の農家さんのお手伝いをしながら、その人たちの技術を学び、ま

た地域のこども達と田植えや稲刈りをしながら、自然との共生、食べることの大切さ、いのちの大切さを互いに学んでいます。

その中で現在、収穫した無農薬野菜を地域の空き店舗を借りて産直販売しています。本当にたぐさんの人たちが買い物を来てくれます。夏の暑い中、お店が開くのを待っていてくれる方もいます。買い物されたあと皆さんと、いろんな会話をします。料理の話、食材の話、年金の話、孫や子どもの話、とっても楽しそうに。笑顔が絶えません。きつと苦しいことも辛いことも人と会話をすることで 人は心の重荷が軽くなるでしょう。

我々は思いました。「ここで地域の人たちが集い、何でもしゃべれるレストラン、コミュニティレストランを作りたい！」

コミレスでおばあちゃんと子育てママたちが交流し、おじいちゃんと地域の子ども達が会話をし、赤ちゃんと赤ちゃんが遊び、他人の子を大切にし、近所の人を心配し、共に支えあう持続的な地域レストランを創ります。

「近所さん」そんな名前にしよう。

このコミレス「近所さん」を通して無縁な社会が無縁なものにしていきたいと思っています。

